

大妻中野中学校・高等学校 編入試験要項

Updated on 2018/12/07

本校に編入する時期は、本校の各学期の始めに合わせ、基本的に年に3回、4月、9月、1月からとなります。それに合わせて、3月、7月、12月に編入試験を実施します。ただし、急な帰国などの場合は、学期途中からでも対応します。academic year の gap についても相談、対応も可能な場合があります。ご相談下さい。なお、編入枠に限りがあり、枠人数が一杯の時は受け付けることができません。

1. 編入試験受験資格

- ① 保護者の転勤に伴う海外在住が1年以上あること。
- ② 編入学の学年が中学1年～高校2年次まで（高校3年次では4月から入学できる）であること。
- ③ 本校の生徒としてふさわしいと認められる生徒であること。

2. 出願に必要な書類

- ① 編入学試験願書 本校ウェブサイトにあります。
- ② 在留証明書 本校ウェブサイトにて書式があります。この書式で作成し、勤務先よりの確認をお願いします。
- ③ 現地校成績証明書（直近1年の成績証明書。例えば、高校1年次に編入であれば、9th Grade / Year 9 の成績証明書。なお、在籍の記録 - Certificate of Enrollment も提出ください。）
- ④ 推薦書・Letter of Reference（現在籍校の先生や課外の活動の担当の方からのもの。複数のドキュメントがあることが望ましい。）
- ⑤ 資格証明・各種 Awards など（英検、漢検、TOFEL、TOEIC、IELTS などの証明書、学校での Honor Roll や Awards など）
- ⑥ 日本人補習校などに通っている場合は、その通知表および教科書給付証明（ない場合は結構です）など。

上記①～③はマストの提出書類、④～⑥は任意の書類ですが、出来る限り提出をお願いしております。英文のままでもかまいません。審査の参考にさせていただきます。編入試験受験の2週間前までに、電子ファイルにして、メール添付でいったん送付のち、原本を試験前までに郵送か、試験当日、お持ちください。受験料（¥22,000）は当日、本校事務室で直接、支払いで結構です。

3. 編入試験

- ・ 国語、数学、英語、各30分、各100点満点。
- ・ 内容は、原則、編入学希望学年・時期までの学習指導要領準拠のもので基本的な内容。なお、これまでの学習履歴を教えていただき、それにそってカスタムメイドで問題を作問することもあります。本校の授業に対応できるかを判断することが基準です。そのため、提出書類で上記の④、⑤、⑥も可否参考にさせていただきます。
- ・ 保護者同伴の面接及び英語インタビュー（5分程度）
- ・ 中学への編入については、英検2級以上取得、TOEFL iBT 52、TOEIC 550 点のいずれかのスコアを超えている受験生、高等学校への編入については、英検準1級以上取得、TOEFL iBT 61、IELTS 5.0、TOEIC 630 点のいずれかのスコアを超えている受験生については、英語筆記試験が免除（満点扱い）になります。

4. 本校への再編入について

本校に一度、入学した生徒が海外へ転出後、本校に再度、編入する際は、中学から中学へ戻る場合は、筆記試験は免除となり、現地校の成績を踏まえての再編入許可となります。また、高等学校への再編入でも、現地の成績次第で、筆記試験は免除します。

5. 相談書の事前送付

編入を検討されている方は、編入試験相談書を提出ください。編入試験相談書を提出した方を編入学希望リストに登載します。相談書は、本校ウェブサイトの「編入」のところにあります。記入したものをメール添付で、本校の編入担当まで送付してください。

6. 編入受け入れクラスについて

グローバル・リーダーズ・クラスへは、現地校 GPA、及び英語力（英検、TOEFL iBT、TOEIC などのスコア）の審査を経て、編入ができます。目安になるのは、中学では、英検2級、TOEFL iBT 52、TOEIC 550、IELTS 4.0 以上、高等学校への編入については、英検準1級以上取得、TOEFL iBT 61、TOEIC 630、IELTS 5.0 以上のスコアです。また、希望に応じて、一般のクラスへの編入もできます。ただし、そのクラスの定員枠により、そのクラスに編入できないこともあります。